

真鶴町港みなとまちづくり協議会 総会（第2回）

日時 平成31年1月21日（月）
午後1時30分～午後2時20分
場所 会議室

1 開会

- ・あいさつ（まちづくり課 菅野課長）

2 会長あいさつ

- ・あいさつ（遠藤会長）

皆さんこんにちは。本日お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。また、11月11日に開催された豊漁豊作祭は、皆様のご協力によりまして、無事に滞りなく進められました。ありがとうございました。おいでいただいた皆様からも大変すばらしい体験ができたこと、喜んでいただきました。

本日は、先ほど説明がありましたとおり、前回の会議の際、ごく簡単に説明があったグランドデザインに関して、具体的な事項ができたようですので、そちらの説明を受けて、皆様から意見をいただき、それらを反映させてより素晴らしいグランドデザインを作り上げたいと思いますので、よろしくお願ひします。

3 議題

（1）真鶴港周辺グランドデザインの策定について

- ・グランドデザイン全体の概要説明（企画調整課 松本副課長）
- ・真鶴港周辺地区グランドデザインの詳細説明（まちづくり課 多田主任主事）

県西土木：短期事業の概算事業費で「水産業の振興のための施設として、魚座の再活用」の2,000万円は、具体的には水槽の整備を示しているのか。

事務局：2,000万円は水槽の整備ではなく、エレベーター設置の費用を想定している。水槽に関しても整備が必要であるが、現時点のところ、経費は算出できていない。

県西土木：子どもが安心して遊べる親水公園とあるが、具体的にはどこに整備する予定か。

事務局：具体的な場所は、まだ考えられていない。

県西土木：この親水は海水（海辺の近くの整備）を意味しているのか。

事務局：基本的には海水で、海辺の近くでの整備を想定している。

県西土木：琴ヶ浜の散策コースの整備ではだめなのか。（使いにくいということか）

事務局：そういう意味ではなく、住民からは真鶴港の周りに子どもが遊べる公園があったら良いという意見が出ている。

県西土木：現在の施設がすべてとは言わないが、今の施設でも十分楽しめる部分もあるので、不足している部分や活用するために必要なことなどを具体的に引き出してもらいたい。その中で県が対応できる部分は対応していきたい。特に、短期として掲げている項目は、そういった視点が必要と考える。

事務局：住民からはパブリックコメントを通して、具体的な意見を伺えるのを期待している。

県西土木：真鶴港の中に親水公園を作りたいということか。

事務局：住民の人は、真鶴港の中に整備されれば良いという意向で、その時の意見としては、子どもが遊べる遊具が備わっている公園をイメージされての発言であった。

県西土木：真鶴港の中に海水を活用できる親水公園の整備は、県としては少し厳しい感じがする。

県西土木：20ページの「真鶴港活性化整備計画イメージパース」は15年程度以前に県で作成したものであるが、具体的な提案等があれば、イメージパース自体を修正することは可能と思われる。

会長：石材業という言葉が記載されている部分は1か所くらいしか確認できないが、どうでしょうか。もっと記載しても良いのでは。

事務局：18ページに「地元産業（漁業と石材業）の活性化と担い手の育成」として記載しているが、人口対策や産業振興として、まずは担い手を育成して、小松石などを活かしたまちなみなどにも広げていきたい。

観光協会：岸壁を使う人が、町にお金を落としてくれるようなコンテンツを含んだ周辺整備が必要と考える。港の西側の船置き場が、宿泊でき、食事ができ、ヨットが入れて、日蔭茶屋のような雰囲気がある真鶴港になれば、将来的にはおもしろいのでは期待できる。そのためには、車で来る人たちは入りやすい港を将来的には目指していくべきで、大規模な改修、駐車場（有料）の整備が必要では。真鶴港でできることがイメージできることが必要。

会長：一つひとつ進めていただければ良いと考える。

（2）その他

- ・ 県西土木事務所小田原土木センター説明（大谷課長・高橋氏）
 - * 津波の監視カメラ設置の件
 - * 整備工事の件
 - * 台風22号による被害の復旧の件